

平成28年度
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
(研究成果の社会還元・普及事業)
実施報告書

HT28238 “話をしているときにどこを見ているの？”を記録して、無意識の視線を分析しよう！



開催日：平成28年8月11日(木・祝)

実施機関：立命館大学

(実施場所) (衣笠キャンパス)

実施代表者：岡本 尚子

(所属・職名) (産業社会学部・准教授)

受講生：小学校5・6年生8名

関連URL:

【実施内容】

会話をするとき、質問をされて答えるときの視線計測を行い、記録したデータを見ながら、無意識的な視線の動きを考察してもらう。また、他者の結果がどのようなであったのかを聞き、自身の結果との違いを見つけてもらう。こうした活動をとおして、生理学的なデータを記録することの面白さや有用性、個々人が持つ興味や思考方法の違いの科学的な分析の楽しさを理解してもらう。

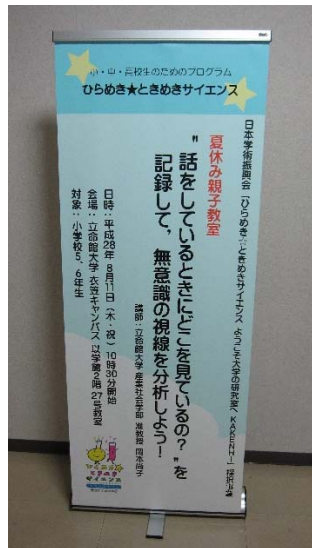
【留意・工夫した点】

- ・一人ずつ視線計測実験を体験し、自分自身のデータを分析・考察できるプログラムとした。
- ・視線計測実験では、“大学生と話すとき”と“保護者と話すとき”を設定し、両者を比較する内容とした。
- ・データ分析用にワークシートを作成し、小学生が考えやすいようにポイントを示した。
- ・小学校教員を志望している学生が実施協力者となり、子どもとの円滑なコミュニケーションがとれる環境を整えた。
- ・視線計測実験の前後には、錯視や図形の回転などを利用した模様描きに取り組んでもらった。

【当日のスケジュール】

10:10-10:30	受付(衣笠キャンパス以学館集合)
10:30-10:40	開講式(あいさつ, オリエンテーション, 科研費の説明)
10:40-12:30	実験「視線計測を体験しよう」
12:30-13:30	昼食・休憩(大学)
13:30-14:00	講義「視覚情報で分かることって何だろう(講師:岡本尚子)」
14:00-14:20	分析「データを分析して、分かることをまとめよう」
14:20-14:40	ディスカッション「分析した内容を発表しよう」
14:40-15:00	修了式(アンケート記入, 未来博士号授与)
15:00	終了・解散

【実施の様子】



👉 プログラムの案内バナースタンド



👉 開講式(オリエンテーション)



👉 開講式(科研費と本事業について)



👉 錯視を利用した模様描き



👉 視線計測実験(対話中の視線計測)



👉 データ分析



👉 データ分析結果の発表



👉 未来博士号授与

【事務局との協力体制】

広報活動、参加者案内、会場設営などについて、実施代表者と事務局で複数回の打ち合わせを実施した。チラシ、バナースタンドなどの作成・手配についても、事務局に担ってもらった。また、当日は、会場において、運営の協力を得た。

【広報活動】

立命館大学のホームページや学内報に加え、株式会社 JS コーポレーションのホームページ「体験イベント in 大学」に情報を掲載し、広報を実施した。また、博物館や科学館に掲示してもらったポスターを作製した。

【安全配慮】

実施協力者を、主に小学校教員志望の大学生とすることで、子どもたちの活動を円滑に補助できるようにした。また、実施協力者には、事前に詳細なスケジュール表を作成して周知を行うとともに、各自の役割分担を明確にした。参加予定者2名につき、1名以上の協力者を配置できる設定とした。

【今後の発展性、課題】

当日に2名の欠席者があったものの、参加者アンケートの結果からは、全員が一人ずつ視線計測を行い、データ分析をできたことが、特に好評であることがうかがえた。今後は、実験の体験を継続しながら、個人差がより大きい実験課題を設定し、受講者間が互いのデータの違いに気づくことで、自身のデータの特徴に対する考えをより深められる工夫を行っていきたい。

【実施分担者】 なし

【実施協力者】 8 名

【事務担当者】 角田 和明(衣笠リサーチオフィス)